

## 計画期間延長による追補（案）についての意見報告

### （1）3つの重要課題に対する令和5年度の目標設定について

#### 【意見】

- ・重要課題1 「『八王子市消費者団体連絡会』の加盟団体数の設定」については、意見なし
- ・重要課題2 「『様々な研修・講座の受講者数』の設定」については、研修の手法（オンライン化）を見込みの検討を提案する。
- ・重要課題3 「『消費生活センターの認知度』の設定」については、オンライン化による周知増の可能性はどうか、直近の認知度数と比較すると現実的な数字か、認知度の測定基準の表記を薦める等の意見があった。

### （2）計画体系上の追加する施策について

#### 【意見】

- ・意見なし

### （3）重要課題における追加する事業について

#### 【意見】

- ・「教育教材のデジタル化」の主な取り組みの内容を詳しく表現するよう提案があった。

### （4）自由意見

#### ①成年年齢引下げに関する教育・啓発について

- ・成年年齢引下げについての被害増加に伴う「救済」について触れられていない点は気になる。  
積極的に被害救済に努める必要がある。

#### ②重要課題2 「消費者教育の推進」について

- ・指標達成も大事だが、受講者の講座の内容理解を測ることが大切だ。
- ・教材のデジタル化のほかに、消費者教育のオンライン化の実施も検討すべき。

③計画期間の延長と重要課題の目標（案）について

- ・重要課題2「消費者教育の推進」について、研修・講座の受講によって消費者が知識を得て賢く消費したり、被害を回避できるようになることは、大切である。
- ・最近の事業者のモラルや信用・信頼については、国内外問わず疑問や不信感を感じる。
- ・重要課題の中に製造者・販売者に向けた「起業家・商業家への教育推進」を設けることで、正常な物販と消費者を守る施策となるのではないか。

④教育教材のデジタル化について

- ・消費生活副読本をデジタル化し配信するだけでは、授業での使い勝手が悪く、利用が減ることが懸念される。
- ・教材のデジタル化には、専門家の支援によって生徒が自学自習を進めること、映像資料が見れるなど、副読本の冊子にはできない構造化したデジタルコンテンツにすることが大切である。